

|                   |   |   |    |
|-------------------|---|---|----|
| 会議名<br>(審議会等名)    | 平成28年度 第2回 川西市青少年問題協議会  |   |    |
| 事務局<br>(担当課)      | 川西市教育委員会<br>こども未来部 こども家庭室 こども・若者政策課 内線(3441)  |   |    |
| 開催日時              | 平成29年3月16日(木) 午後3時～4時   |   |    |
| 開催場所              | アステ川西 6階 アステホール   |   |    |
| 出席者               | 委員  | 阪田憲二郎、大崎淳正、熊田早苗、木部美代子、高木佳子、荻田雅仁、矢野孝雄、中井成郷、澁野敏彦、松山幸一郎、掛井政之、丸山浩志          |    |
|                   | 事務局   | こども未来部長 中塚一司<br>こども家庭室長 山元昇<br>こども・若者政策課 課長 中西成明<br>主査 鳥越永都子<br>主任 池田次郎 |    |
| 傍聴の可否             | <input checked="" type="radio"/> 可・不可・一部不可  | 傍聴者数  | 0人 |
| 傍聴不可・一部不可の場合、その理由 |   |   |    |
| 会議次第              | 1. 開会<br>2. 協議事項<br>(1) 青少年フォーラムについて<br>(2) 青少年問題協議会専門委員会の設置について<br>3. 報告事項<br>(1) 平成28年度「青少年ふれあいデー」について<br>(2) 平成28年度「青少年の表彰」について<br>4. その他<br>5. 閉会             |   |    |
| 会議結果              | 協議事項<br>(1) 平成29年度青少年フォーラムを協議会の意見を基に進めていくことで承認。<br>(2) 子ども・若者育成支援計画改定に向け、専門委員会を設置することを承認。<br>報告事項<br>(1) 平成28年度「青少年ふれあいデー」の実績を報告。<br>(2) 平成28年度「青少年の表彰」について実績を報告。 |   |    |

## 審 議 経 過 ( 要 旨 )

### 1. 開会 ( 15 : 00 )

事務局のあいさつ、欠席者・資料の確認。

### 1. 委員の委嘱について

(事務局)

それでは最初に、委員の解嘱及び委嘱についてお伝えいたします。昨年の民生委員児童委員の一斉改選に伴い、中田鞆子委員に代わりまして、木部美代子委員にご就任いただきました。本日は、時間の都合もありますので、委嘱辞令については、机の上に置かせていただいております。

続きまして、本協議会の会長の阪田先生から、ご挨拶を頂きたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

会長の挨拶

### 2. 協議事項

#### 協議事項 ( 1 ) 青少年フォーラムについて

(資料「青少年フォーラムについて」及び「平成 28 年度川西市青少年フォーラム実績報告」に基づき説明)

(会長)

ただいまの事務局からの説明について、何かご意見やご提案はありますでしょうか。

(委員)

本年度の青少年フォーラムに参加させてもらいましたが、テーマである「プレーパーク」は、関心のある一部の人達のもので、何も知らない人がいたら「ちょっと違うなあ」と感じるかもしれないと思いました。

フォーラムについては、もう少し広い範囲で皆さんが参加できるほうがいいのではないかなと思います。

(委員)

前回の会議の時に何か青少年フォーラムについてアイデアがないかという話の中で、キセラ川西の話になりました。キセラ川西地区内の整備が進む中で、市民が主体となって公園を作っているように感じてもらえないかということで、開催されたものではないかと思えます。

その中でプレーパークに絞られたというのは、今市民主体で公園づくりをやっている形がプレーパークしかなかったのではないのでしょうか。新しい街ができるというところに着目するのであれば、こういう形もありなのかなと思います。

(会長)

参加された方のうち、理解が深まったという方はアンケートで 97 パーセントと出ています。きっかけづくりとしては良かったのではないかということですね。

(委員)

今回のフォーラムでパネリストをさせて頂きました。青少年フォーラム自体に変遷がありまして、平成7年以前は「青少年の表彰」受賞者を主体とし実施していました。それがまさしく青少年フォーラムの発端で、青少年を育成する人たちのための講演会でした。

その後、リーダー隊やボーイ・ガールスカウトの子どもたちが自分たちの思いをぶつけるところとして青少年フォーラムが行われるようになりました。学校の先生や教育委員会に苦勞していただき、PTCAと一緒に実施するようになり、平成26年まではその形で続けてきました。平成27年度には実施できませんでしたが、平成28年度にこういった形になったというものです。

委員がおっしゃるのはよくわかることで、ここにいるメンバーは子育ての世代ではなくプレーパークが身近なものではありません。「子どもたちがの自由に遊べる場所ができたらいいいね」というものがプレーパークという運動で、確かに全市民が対象ではありません。青少年フォーラムとは少し違う「市民フォーラム」に近くなったのかなとも思いますね。

今後も青少年フォーラムという名前でやるのであれば、青少年のことをテーマに取り上げることが大切です。ただ、近年の状況下では、青少年が主体となるフォーラムは厳しく、フォーラム自体を続けていくことが少し難しいかもしれないですね。フォーラムという形にこだわらずに考える必要もあるのかもしれないですね。

(委員)

トライやるウィークの時に、青少年育成市民会議で明峰地区の子どもたちを受け入れました。その時の意見交換が本当に面白くて「私たちは子どもたちの本音を知らないだんなあ」と思いました。そのときのことを思い出すと、私たち市民が青少年自身のことを知れるようなフォーラムだったらいいと思います。

(会長)

市民が青少年を理解する、そういう試みができないかというご意見をいただきました。フォーラムという名前を残すかどうかもありますけれども、青少年を中心としたイベントを進めていくということですね。

色々のご意見をいただきました。来年度以降の青少年フォーラムについては、今日皆様に出していただいたご意見やご提案を参考とし、事務局側で調整を進めていただきながら、一度案を作成していただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 全委員の承認

### 協議事項(2) 青少年問題協議会専門委員会の設置について

(資料「川西市子ども・若者実態調査の概要」及び「川西市青少年問題協議会規則」に基づき説明)

(会長)

ただいまの事務局の説明につきまして何かご意見やご提案はありますでしょうか。不明な点やの疑問点でも結構です。

(会長)

若者に関する実態調査を踏まえて子ども・若者育成支援計画の改定を進めるということです。そのために専門委員会を設置し、集中的に協議を進めていくという考え方です。

(会長)

特に異論がないようですので、平成 29 年度の子ども・若者育成支援計画改定に向け、青少年問題協議会に専門委員会を設置することといたします。

#### 全委員の承認

### 3. 報告事項

(1) 平成 28 年度「青少年ふれあいデー」について、及び(2) 平成 28 年度「青少年の表彰」について

(資料「平成 28 年度青少年ふれあいデーコンクール実施報告」、「平成 28 年度『青少年の表彰』表彰団体一覧」及び「青少年ふれあいデー卓上カレンダー」に基づき説明)

(会長)

ただいまのご説明につきましてご意見・ご質問はございませんでしょうか。

(委員)

川柳コンクールについてですが、小・中学生の部では市内の中学校がたくさん出してくれていて嬉しいのですが、一般の部で市内の方にもっと応募して欲しいなと思います。

(事務局)

前回も同様のご意見をいただきましたので、何とか応募が増えるように P R をさせていただいた結果、応募数自体は前年に比べて大幅に増えておりますが、市内の方の割合が少ない状況にあります。今後、P R の方法を検討していきたいと思えます。

(会長)

市民の人がたくさん参加できる工夫をお願いします。カレンダーについては、いいアイデアだと思います。こんな風に入賞作品が形になると応募する人も増えるかもしれません。

(委員)

青少年の表彰と写真コンクールについて審査をさせて頂きました。今年の応募作品のレベルは高く、コマーシャルで通用しそうな写真もありました。ただ、「家族」のあたたかさや居心地という意味では、青少年ふれあいデーのねらいとは違うものもありました。

表彰については、地域の目が子どもたちに向いていることが理由だと思うのですが、清和台や大和団地、多田グリーンハイツなど北部の推薦が多く、全市的に広がればと思えますね。

(事務局)

コンクールについてですが、今年は専門誌や写真ポータルサイトなどを活用しました。それを見て応募する人が多く、入賞者も市外の人が多くなります。全国から腕自慢の人が応募して

きますのでどうしてもそうなります。もう少し全市的に盛り上げるようなイベントにしていきたいと思います。

(委員)

カレンダーはどこでもらえるでしょうか。

(事務局)

申し訳ありませんが、一般には配布しておりません。今回 300 部作成し、学校公民館関係施設や市役所の窓口を設置することとしています。窓口で市民の方に日付を確認する際に見て頂く、そういう形で青少年ふれあいデーのPRに活用したいと考えています。

(委員)

入賞者には届くのでしょうか。

(事務局)

入賞者には郵送します。

(会長)

ありがとうございました。こういうカレンダーをきっかけに、市民の人に「青少年ふれあいデー」が浸透するよう、よろしく願います。皆様、ありがとうございました。

それでは、これもちまして本日の会議を終了させていただきます。司会を事務局にお返しいたします。

全委員の承認

#### 4. 閉会(16:00)

事務局あいさつ。